

極東国際関係大学
アジア共同体の形成

実施期間：2015年9月~2015年12月

- 第1回 開講式。歓迎の辞。北東アジア共同体の形成
(9月15日) Anatoly Bury (極東国際関係大学教授、アジア太平洋地域研究、ハバロフスク)、
- 第2回 東北アジア：文化の多様性と共通性
(9月15日) Alla Kuznetsova (ハバロフスク地方教育・科学大臣、教育学博士)
- 第3回 東アジア共同体を目指して：日本のビジョン
(9月15日) 高橋章 (日本大学教授、国際関係学部)
- 第4回 東アジア共同体を目指して：ニュージーランドのビジョン
(9月15日) WH (Bill) McCallum (パシフィック国際ホテル学校オーナー/理事/CEO、ニュージーランド)
- 第5回 東アジア共同体を目指して：オーストラリアのビジョン
(10月15日) Allan Layton, 南クィーンズランド大学教授、経済学、ビジネスとPVC学部長、オーストラリア)
- 第6回 共通の将来への、ロシアと東北アジア間の投資プロジェクトと協力の見込み
(10月15日) Alexander Levintal (極東人文科学大学元学長、経済学博士、ユダヤ人自治区知事代理、ロシア)
- 第7回 露日関係：過去、現在、未来
(10月15日) 吉田進 (環日本海経済研究所 (ERINA) 名誉理事長)
- 第8回 グローバル過程の東アジア共同体
(10月15日) Tatiana Zonova (モスクワ州立国際関係大学(MGIMO)教授、政治学博士、モスクワ第一級外交カウンセラー)
- 第9回 ヨーロッパ、ロシア、極東アジアを結ぶもの：極東ロシアの過去と現在
(11月15日) Valery Timoshenko (極東人文科学大学教授、歴史学博士、アジア太平洋国際関係研究所長)
- 第10回 ロシア極東地域と中国東北諸州の相互関係
(11月15日) Peter Baklanov (RAS 通信員、ロシア科学アカデミー太平洋地理研究所極東支部長、ウラジオストック、ロシア)
- 第11回 韓国とロシア極東地域
(11月15日) Kim Hyun Taek (韓国外国語大学教授、翻訳通訳大学院長)
- 第12回 東アジア共同体を目指して：中国のビジョン
(11月15日) Zhang Xiaoming (北京大学教授、国際関係)
- 第13回 東アジア共同体を目指して
(12月9日) 佐藤洋治 (ワンアジア財団理事長)
国際会議、閉講の挨拶、閉会式 (日本：佐藤洋治、高橋章、吉田進、
ロシア：Anatoly Bury, Victor Timoshenko, Alexander Levintal)

講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。